

“Small and Simple” 超音波診断装置 F37 を発売 [2012.01.17] 超音波診断装置

“Small and Simple” 超音波診断装置 F37 を発売
(医療機器認証番号：223AABZX00150000)

Small and Simple 超音波診断装置 F37 を発売

日立アロカメディカル株式会社（本社：東京都
三鷹市牟礼6-22-1 代表取締役社長：吉住 実）
は、デジタル超音波診断装置 F37（エフサンジュウナナ）
を発売します。

F37 は個人開業医や一般クリニック、検診施設など
一次医療への貢献を焦点に開発した超音波診断装置です。
医療水準の向上が目覚ましい新興国での拡販、さらには
今まで超音波診断装置となじみの薄かった潜在的ユーザー
の開拓をめざす、コンパクトな新製品です。



製品の特徴

1. Compact Design (コンパクトデザイン)

F37 は横幅 43 cm、奥行 58 cm とコンパクトなボディを実現し、診察室などスペースの限られた場所でも、すっきりと設置できます。本体側面にプローブや心電図電極のケーブル、フットスイッチ等を入れられる収納トレイを装備、装置周辺の備品収納も簡単です。また、重量も 65kg と軽量化が図られ、握りやすいグリップや大きなキャスターを採用することにより安全でスムーズな移動を可能にしました。

2. Easy Operation (シンプルな操作性)

操作パネルは、初めて使う方にも自然に手が動くことを目指して配置しました。自由にカスタマイズできる操作パネルが、煩雑になりがちな計測操作もシンプルで快適な操作環境を提供、検査効率の向上にもつながります。

人間工学的な使いやすさにも配慮しました。無理のない姿勢で検査ができますので、ユーザーの負担が軽減されます。また、大容量 235GB のハードディスクを採用するとともに、セキュリティ環境に合わせてウイルス対策ソフトを導入していただくことも可能です。

3. Smart Imaging (高画質)

ブロードバンドハーモニクス (BbH) が、感度と分解能を両立し、アーチファクトの少ない画像を描出します。上位機種で採用されている AIP スペックルリダクションや空間コンパウンド

イメージング (SCI) を搭載していますので検査対象に最適な画像を提供いたします。
また、自動画像調整機能(Image Optimizer)は煩雑な画像調整が不要なため、検査に集中することができます。

日常診療で最も使いやすいスタイルと画像性能を追求したコンパクト超音波診断装置 F37。
新たなファミリーの発売によって製品ラインナップをさらに充実させ、超音波診断の一層の普及と世界医療水準の向上に貢献して参ります。